におけるがいをとするののにする

　（）

１ この（「」という。）は、をとするののにする（2565。「」という。）10１のにづき、また、をとするののにする（27２月24）にして、７にするにし、にする（をむ。｢｣という。）がにするためになをめるものとする。

　（ないの）

２　は、７１ののとおり、そのはをうにたり、がい（がい、がい、がい（がいをむ。）そののののがいをいう。じ。）をとして、がい（がいびによりにはになをけるにあるもの。（、びをむ。）じ。）でないとないをすることにより、がいのをしてはならない。これにたり、は、にめるにするものとする。

　（の）

３ は、７２ののとおり、そのはをうにたり、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、がいの、びがいのにじて、ののについてかつな（｢｣という。）のをしなければならない。これにたり、は、にめるにするものとする。

（の）

４ は、２にげるにし、がいをとするのをするため、のにげるをしなければならない。

⑴　のをじたにより、がいをとするのにし、するのをし、がいをとするのにするをめさせること。

⑵　がいからない、のにする、のしがあったは、にをすること。

⑶　のがされた、するにして、のをにうようすること。

２ は、がいをとするにするがじたには、かつにしなければならない。

　（の）

５　によるがいをとするにするがいびそのそののからのににするためのをにく。

２　をけるは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、メールにえ、がいがとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　１のにせられたは、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　１のは、にじ、をるようめるものとする。

　（・）

６ がいをとするののをるため、にのも、にし、な・をうものとする。

２ たにとなったにしては、がいをとするのにするなについてさせるために、また、たにとなったにしては、がいをとするのにしめられるについてさせるために、それぞれをする。

３　は、がいのやなにするをめるようめるものとする。

　このは、28４１からする。

　　におけるがいをとするののにする

　　にる

１ ないのなえ

　は、がいにして、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはにたって・などをする、がいでないにしてはさないをけることなどにより、がいのをすることをしている。

　ただし、がいののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、がいをがいでないとべてするい（いわゆる）、にされたがいにするのによるがいでないとのなるいや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、ないにはたらない。

　このように、ないとは、ななく、がいを、となるはについて、にするがじがいでないよりにうことであるにするがある。

２ なのの

　なにするのは、がいにして、がいをとして、・サービスやのをするなどのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないとえるである。なにするかかについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）びはの・・ののにみ、やにじて・にすることがである。

　は、ながあるとしたには、がいにそのをし、をるようめるものとする。

３ ないの

　ないにたりるはのとおりである。なお、２でしたとおり、ないにするかかについては、のごとにされることとなる。また、にされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、それらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（ないにたりる）

　がいのみをとして、のいをうこと。

○　において、をし、はのをしにすること。

○　の、パンフレットの、やシンポジウムへのをむこと。

○　、スポーツ、やそれらのサービスのをさせないこと。

○　へののの、、、のや、、、をむことや、これらをまないわりとしてなのないをすこと。

○　においてのをけたことをに、のをのからしたり、においてをけたりすること。

（ないにたらない）

○　、、スポーツ、において、をするためになで、プライバシーにしつつ、がいであるにがいのをすること。

○　がいのある、びのため、によるをするにおいて、またにおいて、のをすること。

４ のなえ

１　のにする（「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

　は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がいがけるは、がいのみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

　は、はの・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、はの・・のなにはばないことにするがある。

２　は、がいのやのがめられるやにじてなり、かつのいものであり、がいがにかれているをまえ、ののためのびについて、「５ なのなえ」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるものである。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、がいの、、にするものとする。

　なお、をとするがいがまれる、がいとのがにわたるには、そののとはに、するのをことにより、・なコストの・につながるがあることもしておくがある。

３　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、、のやりサインによる、によるなど、がいがとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

 　また、がいからののみでなく、がいやがい（がいをむ。）によりのがなには、がいの、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

　なお、のがながいが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のにみれば、がいにしてとわれるをするためにをきかけるなど、なにめるものとする。

４　は、がいのをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのののをとして、のがいにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。

５　はのとしてするをにするは、されるのにきながずることによりがいがをけることのないよう、のに、をまえたのについてりむようめることがましい。

５ なのなえ

　なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。は、なにたるとしたは、がいにそのをし、をるようめるものとする。

　○　はへのの（はの、、をなうかか）

　○　の（・、・の）

　○　・の

６ の

　４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであることから、がいとのをりながらうがある。

　なお、としては、のようなものがあるが、５でしたながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにするがある。

（にたりるへのの）

○　において、の、がこえにくいがいにし、にがをらせたり、・をにすることができる・をしたりすること。

○　する・において、のためにキャスターげのをし、はにスロープをすこと。

○　のいにかれたやパンフレットをってしたり、やパンフレットのをかりやすくえたりすること。

○　をじやすいがいからでののがあった、のがであるに、がいにをし、くにをさせてのスペースをけること。

○　にのある、びのために、のためのをしたり、するでするをアクセスしやすいにしたりすること。

○　の、びのためにの・のにをけてをする、のがな、びのためにりののをらすなど、のごとににじてをすること。

（にたりるのの）

○　のまでののに、がいのにわせたでいたり、する（・・）について、がいのをいたりすること。

○　をう、のへの、やでのパソコン、、でのをすること。

（にたりるのの）

○　において、、、みげ、、などなコミュニケーションやかりやすいをってをするなどののをうこと。

○　のから、えにくさにじたの（くことでができる・や、コピー、はをいた、くのものやきのいものなどることができないものをできるやの）、こえにくさにじたなの、えにくさとこえにくさのがあるにじたの（のひらにをいてえる）、がいにしたの（えるのをする、にルビをる、やのりにをんでする｢かちき｣にする、なじみのないはける）をうこと。また、その、でページがなりることにしてすること。

○　がいのあるにし、なではなく、なをうこと。えば、サービスをけるの「」や「」などなのをにして、がしているかをすること。

○　がい、がい、がいによりだけをいてすることやがながいにし、やカード、コミュニケーションボード、タブレットのＩＣＴの、にえるためのの、を｢はい｣は｢いいえ｣でにえられるようにすることなどによりをしたり、の・をしたりすること。

○　のがながいにし、や、などをいずにすること。

（ルール・のなの）

○　において、のに、やがのをうこと。

○　がいがってにんでをっているに、のをたで、がいのがるまでやをすること。

○　との、のにいることによるにより、のがある、をするため、がいにの、のにじてをすること。

○　において、やスクリーンがよくえるように、にいをすること。

○　スポーツ、において、にのあるがいをめにさせにしたり、をするがいのにじて、められたのもできるようにしたりすること。

○　やにおいて、・の、がいのをまえ、での、の、や、みげのをすること。

○　や、みげをしてする、びのために、でするや、をはしたものやテキストデータをにすこと。

○　こえにくさのあるにし、のヒアリングのに、・をしたり、によるをしたりすること。

○　のれによりのがな、びにし、のにじて、にかりやすいをすること。

○　のあるにし、ののに、・のにじてボールにおけるボールのきさやげるをえたり、におけるるをくしたり、スポーツのをしたりすること。

○　にケアをする、びにし、がなもあることなどをめ、をするにはがあることにして、やがにをけているとをり、のやなをにし、にのをしないようにすること。

○　なのためにの、びとじようにができない、びにし、をしたり、できるをしたりするなど、のをし、にはをすることなく、するためのをすること。

○　のためできないがじるにし、をうなど、をするをすること。

○　み・きにのあるのために、やでのタブレットのＩＣＴをしたり、にえてによるをったりすること。

○　がいのため、でのがな、びにし、としてレポートをしたり、をしたものでをったりすること。

○　において、なのにがある、びのために、ななどにおいてグループをするには、にえたり、によってはのをしたりすること。また、こだわりのある、びのために、しいやなどのにおいて、をえることにをするがあることをして、をにしたりにしたりすること。

○　の、のフィールドワークなどでグループワークができないや、のやをするなど、がなにし、のやをしたり、のティーチング･アシスタントをけたりすること。

：がいごとのとなの

「がいをり、にきる」（あいサポーターテキスト）

【がい】

()

　らかのによりにがいがあることにより、くえないとえづらいとがあります。

(の)

　をかけたとき、っているようにえたらをかけましょう。また、をかけるときは、できるだけからしかけましょう。

　「こちら、あちら、これ、それ」などのや、「い」などをすをわず、「３０センチ」「で３」などにしましょう。

【・がい】

()

　がいには、などがやがあります。またのものとやでからこえなくなるがあります。

　がいには、のやながな（、がいなど）と、のにはがなくだけがな（、がい、など）があります。

 (の)

　のがでないとをえることができないがあるので、そのの（、、、など）をしましょう。やのには、がまれます。また、として、ファクシミリやメールのもです。

　わりにくいがあっても、あきらめず、えるをしましょう。

　きりにくいがあっても、かったふりをせず、きちんとをしましょう。

【ろう】

()

　とのにがいがあることを「ろう」といいます。

　くえずくこえないの「ろう」、くえずしこえるの「」、しえてくこえないの「ろう」、しえてしこえるの「」という、きくけて４つのタイプがあります。

(の)

　やりのが、のひらにをいたり、やなど、それぞれにあったコミュニケーションをみすとをしています。

　しかけるときには、にそっとをれてしかけましょう。いろいろしてそのにあったコミュニケーションをつけましょう。

【】

()

　などによるのあるいはや、のにをけたり、のなどによって・にあるマヒやにより、のやのがになります。

　やでにをけたには、のさやのをうこともあります。

(の)

　っていそうなときは、さりげなくをかけ、どんなけがかねましょう。まれるですることがです。

【がい】

()

　からかりにくく、りからされにくいため、ストレスをけやすいにあります。

　がいのあるだけでなく、がしているため、がしれやすく、いをったり、っているなどのをうがされます。

(の)

　がいのやはです。ではかりにくく、りからされずしんでいるがいのあるがいることをりましょう。

　でをするは、がいのあるにとってにわるものであることから、められたルールやマナーをったをしましょう。

【がい】

()

　のがいとのがいなどがしているもいがいです。でをることはであり、でをけたり、にしたりしてをしています。

(の)

　いすやストレッチャーでのにがいりそうなときには、しているにをかけてみましょう。

【がい】

()

　にらかのでながにしていないであることびへのにがあることをいいます。

　「ことばをう」「する」「なことをえる」などにしがかかります。また、のをすぐえることや、とのやりりにくすることがながあります。

(の)

　コミュニケーションがうまくれないときは、ができるようにゆっくりなでしかけましょう。

　のににできず、パニックがこるは、ちけるにしましょう。

【がい】

()

　ではなくのがいによるもので、どんなにがいがあるか、また、どのくらいのなのかはによってです。りからてされにくいがいです。

(の)

　「なぜできないのか」でなく、どうするとよいかなをらし、いでをってにえましょう。

　「らないこと」「めてのこと」やにすることがです。だけでなく、やもってにしをしましょう。

【がい】

()

　やがい（そううつ）などのでは、や、やイライラ、ゆううつ、などがめられます。

(の)

　なましは、のなストレスとなることがあります。じっくりとをかけてすなど、のペースにわせたきかけがです。

【】

()

　とは、をるために、している（アルコールやなど）やをやめようとっていてもやめられないをいいます。

(の)

　は、ののさやによるものではなく、にをしているであることをし、がしてをけることができるよう、がけやりがです。

【てんかん】

()

　ののがにしすぎるために、てんかんがくりしきるです。のあるいはがしたり、だけがわれるなどはです。

(の)

　「てんかん」についてしいをしたうえで、をじて、どのようながかについて、からとしっておくことがです。

【がい】

()

　などのや、・などの、によりがをけることによって、「」「」「」「」などのなのにがいがきることがあり、これががいです。

　からはかりにくいため、のがすることがしく、また、ものがいをにできないことがあります。

(の)

　はメモをいてすなど、ゆっくり、かりやすく、にしてえましょう。

　やいらいらするがられたらみしてをすようにしましょう。